

平成 24 年 3 月 30 日

総務省総合通信基盤局電波部
移動通信課 御中

郵便番号 105-7317
(ふりがな)
住 所 東京都港区東新橋一丁目9番1号
(ふりがな)
氏 名 ソフトバンクモバイル株式会社
代表取締役社長兼CEO 孫 正義

郵便番号 105-7316
(ふりがな)
住 所 東京都港区東新橋一丁目9番1号
(ふりがな)
氏 名 ソフトバンクテレコム株式会社
代表取締役社長兼CEO 孫 正義

郵便番号 105-7304
(ふりがな)
住 所 東京都港区東新橋一丁目9番1号
(ふりがな)
氏 名 ソフトバンクBB株式会社
代表取締役社長兼CEO 孫 正義

当該意見募集に関しまして、今回このような意見募集の機会を設けていただいたことに、厚く御礼申し上げます。

「700MHz 帯を使用する特定基地局の開設に関する指針案に対する意見募集」に関し、別紙のとおり意見を提出します。

尚、問い合わせ等は、下記連絡先で対応致しますので、宜しくお願い致します。

(連絡先)

電話番号

電子メール

意見書

1. 現行 700MHz 帯 FPU (36MHz 幅) の移行先は、1.2GHz 帯 (60MHz 幅) と 2.3GHz 帯 (40MHz 幅) が候補であるが、1.2GHz 帯を優先して利用し、2.3GHz 帯は、すでにアジア諸国でも移動体通信での利用が加速しており、この需要に備え利用を控えるべきである。
2. FPU と特定ラジオマイクは、700MHz 帯においては、共有して利用してきた経緯があり、電波利用上、有効であったことから、引き続き共有して使用し、望ましくは現行と同じ 36MHz 幅以内で利用すべきである。
移行にあたって、使用帯域幅を増加させるべきではない。
3. 特定ラジオマイクは、ホワイトスペースを利用する場合においても周波数有効利用の観点から将来の地上波デジタルの更なるリパック※を前提に、UHF42CH 以下のホワイトスペースに移行すべきである。
4. 特定ラジオマイクの移行は、デジタルとアナログが併用されているが、周波数有効利用の観点から移行後は、デジタルのみとするべきである。
5. スマートフォン等の普及により、移動体通信用の周波数が足りなくなると今後も予測される中、国際的にも移動体通信用として用意されている 2.3GHz 帯は 3GPP のバンド 40 として規定されているため、国際的なハーモナイズを考慮すると、2.3GHz 帯は移動体通信用に割当を変更するべきである。

※更なるリパックに関する当社意見

平成 21 年 1 月 12 日付「ホワイトスペースの活用方策など新たな電波の利用方策に関する提案」に関する要望書

平成 22 年 2 月 26 日付「放送用周波数使用計画の一部変更案に関する意見募集」に関する意見書

以上